

北アルプス日本海広域観光連携会議 第 1 回 幹 事 会

平成 26 年 2 月 19 日
ヒスイ王国館

1 開会

2 審議事項

(1) ロゴマーク、キャッチフレーズの最終選考結果について

(2) 平成 2 6 年度事業計画、予算案について

(3) 今後のスケジュールについて

2/20 (木) ロゴマーク、キャッチフレーズの記者発表

3/16 (日) 開業 1 年前カウントダウンイベント (ポスターの発表)

4/13 (日) 北陸新幹線糸魚川駅見学会の開催

(4) その他

3 その他

ロゴマーク部門(応募総数106点)

最優秀賞1点(賞金3万円)



北アルプス日本海広域観光連携会議

(受賞者) 上越市東本町 金津 博 自営業(69歳)

(作品の説明)

円の中に「北アルプス」に模した山並み、「新幹線車両」、「日本海と海鳥」、「さくら」と「北アルプス日本海広域観光連携会議」のロゴマークを組み合わせせて表わしました。「さくら」は6市町村に。

優秀賞1点(賞金1万円)



北アルプス日本海広域観光連携会議

(受賞者) 兵庫県宍粟市 小柴 雅樹 デザイナー(49歳)

(作品の説明)

北アルプス・日本海・糸魚川駅を描き、北陸新幹線『糸魚川駅』開業により、アクセスの高速化によつての集客力アップをイメージしデザインしました。

平成 26 年度
事業計画・予算案

北アルプス日本海広域観光連携会議

平成26年度 収入支出予算(案)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	説 明
1. 負担金	12,058,000	
	8,500,000	糸魚川市
	859,000	上越市
	1,073,000	大町市
	327,000	白馬村
	113,000	小谷村
	486,000	朝日町
	700,000	新潟県
	0	パンフレット分(10,000部)
2. 補助金	0	
3. 雑収入	242,000	総会交流会費
4. 繰越金		前年度繰越金
計	12,300,000	

0

【支出の部】

科 目	予算額	説 明
1. 事業費	11,200,000	
広告宣伝	3,800,000	パンフレット、ポスター作成費等
誘客宣伝	6,560,000	誘客活動費、モニターツアー等
イベント関連	540,000	新幹線開業イベント関連費
ホームページ運営費	300,000	ホームページ管理費
2. 連携会議運営費	1,100,000	
会議費	250,000	総会、交流会
事務委託費	800,000	糸魚川市観光協会
事務通信費	50,000	消耗品、事務通信費等
計	12,300,000	

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成 26 年度 事業計画書（案）

(単位：千円)

区分	実施時期		事業名		参照頁	事業費	H26予算額
広域観光PR	開業準備期	6月	広告宣伝	広域観光ポスターの作成	1P	800	3,800
		7月		広域観光パンフレットの作成	2P	3,000	
		4月	誘客宣伝	デスティネーションキャンペーンとの連携	3P	0	6,560
		5月		TV番組の誘致活動	4P	500	
		9月		認知度調査および開業効果測定事業	5P	400	
		9月		観光プロモーションの実施	6P	3,300	
		通年		広域周遊型旅行商品の展開	7P	1,000	
		通年		出身タレントの活用	8P	1,000	
		通年		観光大使・ゆるキャラの活用	9P	360	
		10月	イベント	市民見学会の開催	10P	540	540
		通年		広域観光PRの実施	11P	0	
		通年	HP運営	ホームページ運営管理	12P	300	300
地域内PR	カウントダウン	9月	イベント	6か月前カウントダウンイベント	13P 14P	0	
		12月		3か月前カウントダウンイベント		0	
		2月		1か月前カウントダウンイベント	0		
		通年		地域内イベントPR事業	15P	0	
						0	
開業	開業時	当日	イベント	開業時イベント		0	
						0	
その他	開業準備期	通年	交通政策	交通アクセス検討事業	16P	0	
						0	

広告宣伝

広域観光ポスターの作成

1 趣旨

季節に応じたポスターを作成し、当地域の魅力を訴えることで来訪意欲の創出と誘客促進を図る。

2 事業計画（案）

連携会議の魅力は海と山である。風景を活かしたインパクトのあるポスターを作成し、興味の喚起と来訪意欲を促す。

- (1) 掲出エリアの選定
- (2) デザインの決定

【参考】

JRの駅貼りの要件として、「タイアップポスター」と「観光誘致ポスター」の2種類があり、いずれも掲出には内容の承認が必要。自由なデザインでの作成を希望する場合、掲出には制約は設けませんが掲出料が高額になる。（首都圏駅掲出例：200枚で約250万円）

3 目標

露出を増やすことで認知度向上と来訪意欲の創出を図る

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			企画、デザイン決定									
				作成								
						掲出（冬バージョン）						
									掲出（新幹線開業バージョン）			

5 事業費（概算）

800,000 円

<内訳>

- ・ 作成費 375,000円（400枚）×2種＝750,000円
- ・ 掲出料 100枚×500円（発送手数料）＝50,000円

広告宣伝

広域観光パンフレットの作成

1 趣旨

当地域及び当会議の認知度向上及び誘客促進を図るため、エリアを網羅した広域観光パンフ（マップ）を作成する。

2 事業計画（案）

名のある旅行ガイド出版社と組むことで、ピックアップ率、保存率を高め、客からの高いレスポンスを狙う。

【例1】 マップル特別編集版(昭文社発行)
▼オリジナル観光ガイドブック(無料配布版) 10,000部×単価650円=6,500,000円(税抜)
 AB版(H257mm×W210mm) 32頁 中綴じ
 表紙コート135kg(PP加工) 本文コート90kg
 取材(6市町村分)、企画編集、デザイン、印刷製本

【例2】 マップル特別編集版(昭文社発行)
▼オリジナル広域観光マップ(無料配布版) 50,000部×単価55円=2,750,000円(税抜)
 A1判 コート73kg
 表面:広域地図
 裏面:観光情報(写真、記事支給)

3 目標

不特定多数への情報発信
 認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2014年(平成26年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				企画検討								
						デザイン、編集、印刷						
										配布(随時)		

5 事業費（概算）

3,000,000 円（作成するタイプにより変動）

誘客宣伝

デスティネーションキャンペーンとの連携

1 趣旨

JRグループの大型観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン（DC）」に参加し、糸魚川駅開業と「北アルプス日本海広域観光連携会議」の認知度向上と来訪意欲の創出を図るとともに、広域観光旅行商品の売り込みを図る。

2 事業計画（案）

全国的に注目が集まるDC企画に参加し、連携会議の魅力を伝える。

- (1) テーマは「食」に加え、「花」「雪」「酒」「匠（たくみ）」であることから、魅力十分な当地域の強みを訴える。
- (2) 新潟うまさぎっしり博に出展し「食」によるPRを行う。
- (3) 平成26年7月半ばには新潟市内で全国の旅行会社の担当者らを対象に、宣伝販売促進会議が開催される予定であり、広域旅行商品を造成し紹介する。
- (4) 北陸三県（富山・石川・福井）DCとの連携を検討する。（H27.10.1～12.31開催）

3 目標

認知度向上と来訪意欲の創出

JRびゅう商品へのステップアップ

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内容決定											
		DCイベント実施										
				宣伝販売促進会議での商品の売込み								

5 事業費（概算）

0 円

誘客宣伝

TV番組の誘致活動

1 趣旨

TV番組での放映を通じ、当地域の魅力を広く紹介することで来訪意欲の創出と誘客の促進を図る。

2 事業計画（案）

地元ローカル局を通じ、在京キー局へ取材誘致の呼びかけを行う。思惑の一致を図り、無償での誘致を図りたい。なお、必要に応じて協賛といった形で経費協力するものとする。

放送開始を新幹線開業後に想定し、平成26年度は情報提供と誘致活動に努め、場合によっては取材協力を行う。

(1) 地元ローカル局各局への情報提供と業務打診

- ・当地域をクローズアップした旅紀行番組を制作
- ・北陸新幹線のほか、大糸線、並行在来線の利用を促す内容とする
- ・北陸新幹線糸魚川駅を拠点に各地域と近距離で楽しむことを強調
- ・放映後、映像素材は自由に使用できるものとする（著作権フリー）

3 目標

TV番組取材の誘致

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	情報提供、誘致活動											
	（随時）取材同行											

5 事業費（概算）

500,000 円

誘客宣伝

認知度調査および開業効果測定事業

1 趣旨

当地域の認知度調査を行うことで今後の戦略を立てるうえでの効果的資料とする。
北陸新幹線開業の前後で旅行者の流れの変化を数字により把握する。

2 事業計画（案）

< 調査概要 >

調査方法	Web調査
調査対象者	アクティブシニアと呼ばれる中高年世代
対象地域	首都圏（1都3県＋群馬）、関西圏（2府4県）
対象者数	500～1,000人
調査項目	糸魚川市及び周辺地域の認知度、北陸新幹線開業の認知度、 観光イメージや来訪意欲度等

3 目標

当地域に対する認知度の把握
北陸新幹線開業前の旅行客の動きの検証

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					準備							
						調査実施						
							集計、報告					

5 事業費（概算）

400,000 円

誘客宣伝

観光プロモーションの実施

1 趣旨

開業を控えた北陸新幹線のPRと「北アルプス日本海広域観光連携会議」の魅力について認知度の向上を高めるためのPRイベントを開催する。

2 事業計画（案）

北陸新幹線開業と連携会議の紹介のほか、各地域の物産の販売を通じ、当地域の認知度向上と来訪意欲の創出を図る。実施にはJR関連企画会社への協力依頼が必要。

各県出先事務所との連携により発信力の強化を図り、パブリシティによる露出を図る。

< 実施地域 >

首都圏、関西圏、北陸のいずれかで1回開催

【実施例】

開催日	平成26年7月、9～1月の間の週末2日間
会場	東京駅地下1階 びゅうスクエア
参加者	連携会議自治体及び観光協会、観光大使、ゆるキャラ、 武将隊（上越市）、物販出店者等
内容	催事場での連携市町村の観光及び物産のPR <ul style="list-style-type: none"> ・地域PRブースの設置 ・物産販売 ・ゆるキャラステージ、武将隊演武 ・JRによる開業PRと各地域のびゅう商品の紹介
費用	300万円（什器、サイン、JR関連会社の支援スタッフ等含む）

3 目標

認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	企画調整 →			実施（いずれかの月の週末3日間）						→		

5 事業費（概算）

3,300,000 円 （出展料等）

誘客宣伝

広域周遊型旅行商品の展開

1 趣旨

北陸新幹線開業による効果を活かした広域旅行商品の開発を行い、旅行エージェントへ紹介し、当地域の魅力の発信と商品化につなげる。

2 事業計画（案）

周遊型広域観光商品の開発と販売促進活動

- (1) 観光素材の収集、周遊型広域旅行商品の開発
- (2) エージェント現地見学会およびモニターツアーの実施
- (3) エージェントによる評価と商品の磨き上げ
- (4) 本番用モニターツアーの企画、売り込み、実施

3 目標

認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	観光素材の収集、周遊型広域旅行商品の開発											
						AGT見学会、モニター						
							商品の磨き上げ					
										販売		

5 事業費（概算）

1,000,000 円 （広告宣伝料、エージェント旅費等）

誘客宣伝

出身タレントの活用

1 趣旨

地元出身のタレントを起用し宣伝に協力してもらうことで、当地域の認知度向上を図るとともに、タレントを招いての交流事業を通じて、広域観光連携のメリットを享受することで機運の醸成を図る。

2 事業計画（案）

タレントの知名度を生かし、PR力の強化を図る。

タレント自身の出演番組内でも北陸新幹線開業PRを依頼。

連携会議地域間でタレントを活用した事業交流を行い、広域観光連携のメリットを感じてもらう。

- (1) 出身タレントのリストアップと活用案の検討
- (2) 出演依頼交渉と受入態勢の確保

【活用案】

ポスターへの出演、新幹線開業応援メッセージ（→HPで閲覧可）、講演会・講習会の実施等

3 目標

認知度向上と機運の醸成

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	リストアップ											
		活用案の検討										
			出演交渉									

5 事業費（概算）

1,000,000 円 （出演料等）

誘客宣伝

観光大使・ゆるキャラの活用

1 趣旨

各市町村及び観光協会が有する観光大使（ミス等）やゆるキャラを様々な形で活用し、PRを図ることで、注目度を高め認知度の向上を図る。

2 事業計画（案）

連携の効果を活かし、観光大使やゆるキャラを集合体で活用することで注目度を高め、認知度の向上を図る。

低予算で効果的な演出を検討する。

【活用案】

- ・ホームページ上で各地ミスの紹介（例：ミスご当地コレクション）
- ・各自治体事業への出演（例：ゆるキャラ大集合）

3 目標

認知度向上と誘客の促進

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	企画協議 →											
		(随時) 派遣・活用										→

5 事業費（概算）

360,000 円

<内訳>

- ・観光大使報償費 10,000円×12名分×3回=360,000円
- ・観光大使旅費（なし。自治体職員と一緒に庁用車で動く）
- ・ゆるキャラは自治体職員対応のため費用負担なし

イベント

市民見学会の開催

1 趣旨

連携会議市町村内に居住する市民を対象に、新幹線駅舎の見学と広域観光圏の周遊ツアーを実施し、機運の醸成と新幹線の利用促進を図る。

2 事業計画（案）

新幹線駅舎の見学をメインとした広域周遊ツアーを実施する。

- (1) 交通事業者との打合せ（頸城自動車、アルピコ交通）
- (2) 運行計画及び商品プランの造成
- (3) ホームページ、広報等による周知と募集

※鉄道運輸機構側との話し合いで催行時期に調整が必要

※観光のハイシーズンのためバスの確保に注意

< 概要 >

日時	平成26年10～11月の間の土日（1回催行）
対象者	大町、白馬、小谷方面からバス2台 朝日、上越方面からバス各1台
募集人数	1回の運行につき40名
内容	新幹線駅舎の内覧会、新幹線開業による効果の説明、連携会議の取組みの説明、周辺地域の観光ほか
その他	1,500円～2,000円の参加費（昼食代）を徴収

3 目標

市民意識の高揚や期待感の創出による機運の醸成
新幹線の利用促進

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			プラン策定									
			→		周知、募集		催行	→				

5 事業費（概算）

540,000 円

<内訳>

- ・バス借上代 130,000円/日×4本=520,000円
- ・ガイド料 5,000円/日×4回=20,000円

イベント

広域観光PRの実施

1 趣旨

各市町村及び観光団体が出展する首都圏、関西圏等でのイベントやキャンペーンにおいて、「北アルプス日本海広域観光連携会議」のPRを実施し、認知度向上に努める。

2 事業計画（案）

連携会議の各団体が首都圏や関西圏で実施する集客力のあるイベントやキャンペーンにおいて、糸魚川駅開業情報と「北アルプス日本海広域観光連携会議」の魅力を発信し、露出機会を増やすことで認知度向上を図る。

各自自治体事業で連携会議に求めることがあれば、協力を検討するものとする。（合同出展での費用負担減、ブース幅の拡大等）

- (1) ポスター、パンフレット、のぼり旗等の掲出
- (2) 連携会議エリアの観光情報の紹介

【例】糸魚川市の場合

・首都圏誘客キャンペーン	6月	J R 大宮駅（さいたま市）
・新潟県観光物産展	6月	J R 大阪駅（大阪市）
・NEXCO東日本観光キャンペーン	7月	関越自動車道上里SA（埼玉県上里町）
・モンベルクラブフレンドフェア	10月	幕張メッセ（千葉市）
・モンベルクラブフレンドフェア	11月	インテックス大阪（大阪市）
・新潟県観光物産展	11月	J R 大阪駅（大阪市）
・旅フェア	11月	サンシャインシティ（東京都豊島区）
・NEXCO東日本観光キャンペーン	11月	関越自動車道上里SA（埼玉県上里町）
・糸魚川観光物産フェア	11月	表参道・新潟館ネスパス（東京都渋谷区）
・冬季観光キャンペーン	12月	J R 金沢駅（金沢市）
・うまさぎっしり新潟冬フェスタ	12月	表参道・新潟館ネスパス（東京都渋谷区）

3 目標

首都圏、関西圏の不特定多数への情報発信

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	実施（随時）											
												→

※25年度中に各団体の事業の把握を行う

5 事業費（概算）

0 円

HP運営

ホームページ運営管理

1 趣旨

訴求力のあるコンテンツを発信する魅力あるサイトを運営することで、北陸新幹線開業及び連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組みを伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を活かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより連帯感の醸成と露出度の向上を図る。

3 目標

認知度向上
 連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	運営、管理											
	→											

5 事業費（概算） 300,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 240,000円
- ・情報更新料 5,000円/月×12カ月＝60,000円

イベント

糸魚川駅開業記念事業実行委員会との連携

1 趣旨

北陸新幹線開業記念実行委員会（事務局：糸魚川市産業部都市整備課）と連携してイベントを開催することで相乗効果を高めるとともに、誘客の促進を図る。

2 事業計画（案）

■ 1年前カウントダウンイベント（平成26年3月実施予定）

企画内容（予定）

- (1) 開業記念プロジェクトの発表
- (2) プラレール企画の発表
- (3) ゆるフォト・コンテストの告知

■ 6か月前カウントダウンイベント（平成26年9月実施予定）

企画内容（予定）

- (1) プロジェクション・マッピング
- (2) カウントダウンボード掲出
- (3) アンバサダー活動開始（SNS連動）

■ 3か月前カウントダウンイベント（平成26年12月実施予定）

企画内容（予定）

- (1) キャンドルナイト&ライブ

■ 1か月前カウントダウンイベント（平成27年2月実施予定）

企画内容（予定）

- (1) ゆるキャラフォトコンテスト
- (2) プラレール文字制作
- (3) PRキャンペーン強化

■ 開業日当日（平成27年3月）

企画内容（予定）

- (1) 地元タレントによる開業式典
- (2) プラレール企画完成披露

3 目標

認知度向上と機運の醸成
協働による経費節減

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						6か月前CD						
						→			3か月前CD			
									→			
											1か月前CD	
											→	
												開業
												→

5 事業費（概算）

0 円

イベント

地域内イベントPR事業

1 趣旨

連携会議の地域内で開催される各種イベント等で新幹線開業PRを行うことで、北陸新幹線「糸魚川駅」及び「北アルプス日本海広域観光連携会議」の認知度を高めるとともに、地域内の機運醸成を図る。

2 事業計画（案）

多数の集客が見込める地域を代表するイベントにおいて、PRコーナーを設け来場者に紹介する。

- (1) ポスター、パンフレット、のぼり旗等の掲出
- (2) 連携会議の取組み及びエリアの観光情報の紹介

PRコーナーの装飾、レイアウト等は事業者提案によるものとするが、以下に掲げるものを掲出する。なお、イベント終了後には、事務局に実績報告を行うものとする。

- ・パンフレット（100～200部程度）
- ・ポスター（1枚以上）
- ・のぼり旗（1基以上）

【例】糸魚川市の場合（地域外からの来訪が多いもの）

イベント名称	開催月	開催日数	入込数（人）
翠風展	5月	2日	4,800
ひめかわポートフェスティバル	8月	1日	24,000
日本海クラシックカーレビュー	9月	1日	20,000
糸魚川翡翠鉱物展	11月	2日	3,500

3 目標

地域内における認知度向上と連帯感の醸成

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施（随時）												

5 事業費（概算）

0 円

二次交通

交通アクセス検討事業

1 趣旨

北陸新幹線糸魚川駅を拠点として各市町村までの交通アクセスを検討し、個人型周遊観光ルートの確保に向けた制度設計を行う。

2 事業計画（案）

- ・交通事業者を中心に（仮称）二次交通検討部会を立ち上げ、糸魚川駅を中心とする交通アクセスの検討を行う。
- ・個人型周遊観光ルートの確保に向けた制度設計を行う。

- ・構成自治体へ送客（誘客）する仕組みづくりの検討
- ・シャトルバス、定期観光バス、観光タクシー、企画切符等の検討・提案
- ・新幹線利用者を対象とした割引特典等の検討・提案
- ・大糸線、北陸本線との運行調整
- ・特急利用者への利用促進PR
- ・JRへのリゾート列車、びゅうバス等の運行要請

3 目標

交通アクセスの検討と環境整備
周遊ルートの制度設計

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討												

5 事業費（概算）

0 円